

投 稿 規 定

- 1) 精神療法, 精神病理に関連する研究報告, 症例研究, 資料など, 未発表の論文を掲載します。
 - 2) 原稿の採否は本誌編集委員会が決定します。
 - 3) 採用された原稿は, 原則として下記の欄に掲載されますが, 採用の条件は以下の通りです。
 - ・「研究報告」: 臨床経験に基づく知見, 技法的試みやその他の研究成果などを明確に記したもの。規定枚数は30枚以内(四百字詰め原稿用紙)とし, 論文題名・氏名・所属のそれぞれに欧文をつけて下さい。なお, 図と表はあわせて10枚以内とし, 1枚ずつ別紙に貼付した上で本文に図版挿入箇所を明示して下さい。
 - ・「研究報告」「症例研究」「誌上スーパービジョン症例」「資料」については, 別に抄録(600字以内)とキーワード(5つ以内)を添えること。
 - ・「症例研究」: 症例の特徴・経過を具体的に記載したもの。失敗例や未終結のものでも歓迎します。規定枚数その他は「研究報告」に準じます。
 - ・「誌上スーパービジョン症例」: 「研究報告」に準じますが, 編集委員またはその他の方のコメントによるスーパービジョンを加えて広く実際の臨床に益するところを目指すもの。規定枚数その他は「研究報告」に準じます。
 - ・「論説」「資料」: 臨床経験に基づき, 著者の見解を示したり新たな問題を提起したりするもの, もしくは資料として価値があると判断されるもの。規定枚数その他は「研究報告」に準じます。
 - ・「文献紹介」: わが国でまだ十分に知られていない論文の紹介。雑誌・単行本, 邦文・欧文, 古典・新刊の別は問いません。枚数その他は「研究報告」に準じます。
 - ・「紹介」: 上記以外で報告に値すると思われるもの。形式は自由で, 規定枚数その他は「研究報告」に準じます。
 - ・「短報」: 臨床上の工夫や試み, 気づきなどを, 試論的または速報的に報告したもの。形式は「研究報告」に準じるが規定枚数は12枚とし, 抄録, キーワードは不要。
 - ・「海外だより」「海外の動向」「最近の動向」: 精神療法をめぐる動きや話題など。枚数は12枚以内, 形式は自由。
 - ・「討論のひろば」: 本誌に掲載された論文などに対する反論, 補足, 感想など。枚数は3~10枚以内, 形式は自由。
 - ・「当事者(患者・クライアント)および家族, 関係者の精神療法についての意見」: 精神療法やそれに関連する精神保健活動に対する意見や感想。枚数は7枚以内, 形式は自由。
 - 4) 投稿の際は下記の点に注意して下さい。
 - i) 報告されるケースのプライバシーに関しては, 著者が責任をもって十分配慮すること。
 - ii) 原稿は四百字詰め原稿用紙に横書き, 新かな, 常用漢字, 算用数字を用い, はっきりした字体で書いて下さい。ワードプロセッサ使用の場合, A4判に1,200字詰(40字×30行)にし, 行間は全角以上おとり下さい。
 - iii) 外国の学者名, 薬品名は原語で, 述語は邦語を用い, 必要な場合のみ()内に原語を示して下さい。また本文では「Cl」「Th」などの略表記は原則使用しないこととし, 「患者」「クライアント」「治療者」「セラピスト」などのように略さず表記してください。
 - iv) 文献は, 著者名(3名以上は“他”とする), 発行年次, 題名(単行本は書名), 誌名(単行本は出版社), 巻, 頁数(通巻頁数の最初と最後)の順に, 著者名のアルファベット順(同名の場合は発表順)に並べ, 本文中では, 著者名(発行年)で引用して下さい。誌名は公の略称を用いて下さい。

[邦文例] 上西清・桐本孝次・佐々木誠, 他(1992)『生き方』の結果としての慢性疾患—1 症例に基づく考察, 精神療法 18(3): 241-247.

土居健郎(1971)『甘え』の構造, 弘文堂.

小川信男(1984) 家族防衛と家族療法—分裂病と心因反応の比較. (河合隼雄・岩井寛・福島章編) 家族精神療法, 金剛出版.

[欧文例] Kohut H (1959) Introspection, empathy, and psychoanalysis. J Amer Psychoanal Assn 7: 459-483.

Balint M (1968) The Basic Fault: Therapeutic aspects of regression. The Tavistock Publication. (中井久夫訳(1978) 治療論からみた退行—基底欠損の精神分析, 金剛出版)

Knight RP (1954) Management and psychotherapy of the borderline schizophrenic patient. In Knight RP (ed.) Psychoanalytic Psychiatry and Psychology. International Universities Press.

 - v) 希望があれば, 欧文抄録(500語以内)をつけて掲載します。
- 5) 別刷りは, 希望部数(50部単位)により実費をいただきます。筆者校正の時にお申し込み下さい。PDFをご希望の方には, さしあげます。
- 6) 原稿は, 上記各欄の別を明記し, コピー2部を添えて, 〒112-0005 東京都文京区水道1-5-16 (株)金剛出版「精神療法」編集部宛てに郵送, または seishinryoho@kongoshuppan.co.jp 宛に電子メールにて送付してください。
- 7) 雑誌掲載論文を電子媒体等に転載する際の二次使用権については当社に保留させていただきます。ご了承下さい。

Vol.51 No.5 [特集] 児童相談所と精神療法



【巻頭言】中井久夫先生と精神療法と看護と：上別府圭子

【特集】児童相談所と精神療法：山中康裕／児童相談所の働き方を考える：牧真吉／児童相談所における出会いと支援：茂晃久／児童相談所における精神療法とはなにか：滝川一廣／ラップミュージックでトラウマを耕し、手なずける：苧野亮介・宮地尚子／今の子どもたちへのまなざし：岩宮恵子／児童相談所と社会的養護：平田美音／医療側からみた児童相談所との連携の実践と困難さ：岩垂喜貴

【エッセイ】青木省三／近藤直司／岸本寛史／水野紀子／杉山春／中村伸一／内海新祐

特集タイトル	特集タイトル
Vol.51 No.4 リカバリーを目指す認知療法 (CT-R) を実臨床で生かす	Vol.47 No.6 夫婦・家族療法の実践
Vol.51 No.3 妊娠・出産という経験	Vol.47 No.5 複雑性 PTSD と接する——さまざまな治療的アプローチ
Vol.51 No.2 自殺をめぐる諸問題	Vol.47 No.4 複雑性 PTSD を知る——総論、実態、各種病態との関連
Vol.51 No.1 はたらく人たちのウェルビーイング ——‘はたらき方’というよりも、‘企業風土’の改革を	Vol.47 No.3 オンライン心理相談の最前線
Vol.50 No.6 先生は大変だ ——「先生たち」のメンタルヘルスを通して見えるもの	Vol.47 No.2 コロナ [COVID-19] 禍のメンタルヘルス
Vol.50 No.5 精神療法における治療とは	Vol.47 No.1 現代の解離症とその治療
Vol.50 No.4 発達障害（神経発達症）臨床の現在（いま）	Vol.46 No.6 学校のメンタルヘルス
Vol.50 No.3 わが国における家族療法の発展と課題	Vol.46 No.5 児童相談所よ がんばれ——その進化論
Vol.50 No.2 共感と精神療法	Vol.46 No.4 脳科学と精神療法
Vol.50 No.1 箱庭療法——新たな発見に向けて	Vol.46 No.3 アサーション・トレーニングと心身の健康
Vol.49 No.6 認知行動療法における「認知」と「行動」を再考する	Vol.46 No.2 多文化共生社会における精神療法
Vol.49 No.5 意識	Vol.46 No.1 催眠
Vol.49 No.4 医療領域でのソーシャルワークの多職種協働実践	増刊第12号 アディクション支援のフロントライン
Vol.49 No.3 エナクトメント——治療者の「こころ」の視点から	増刊第11号 児童期・青年期のメンタルヘルスと心理社会的治療・支援
Vol.49 No.2 感情の力——コントロールと言語化を越えて	増刊第10号 グループで日常臨床を変える
Vol.49 No.1 逆説的介入を日常臨床に活かす	増刊第9号 こころの臨床現場からの発信
Vol.48 No.6 パーソナリティ症と精神療法	増刊第8号 アサーション・トレーニング活用術 ——さまざまな現場での臨床応用
Vol.48 No.5 マインドフルネスとコンパッション	増刊第7号 疾患・領域別最新認知行動療法活用術
Vol.48 No.4 サイコロジカル・ファーストエイド ——新型コロナウイルス禍のメンタルヘルス	増刊第6号 ケースフォーミュレーションと精神療法の展開
Vol.48 No.3 ユング派精神療法の危機と未来	増刊第5号 精神分析の未来を考える
Vol.48 No.2 看護と精神療法	増刊第4号 認知行動療法のこれから
Vol.48 No.1 『異界』の意識と精神療法	増刊第3号 精神療法を教え伝える、そして学び生かす
	増刊第2号 現代の病態に対する〈私の〉精神療法
	増刊第1号 先達から学ぶ精神療法の世界——著者との対話への招待

- 欠号および各号の内容につきましては、弊社ホームページに詳細が載っております。ぜひご覧下さい。
- B5判・平均144頁・隔月刊（偶数月刊行）・本誌2,420円、増刊号3,300円・年間定期購読料17,820円（※年間定期購読のお申し込みにより送料弊社負担）
- 本誌Vol.47 No.5より、デジタル版も販売しております。
- お申し込み方法：書店注文カウンターにてお申し込み下さい。直送をご希望の方は、弊社営業部までご連絡下さい。
- 「富士山マガジンサービス」（雑誌のオンライン書店）にて新たに雑誌の月額払いサービスを開始いたしました。月額払いサービスは、雑誌を定期的にお届けし、配送した冊数分をその月ごとに請求するサービスです。月々のご精算のため支払負担が軽く、いつでも解約可能です。
- 価格は10%税込みです。